

地域における野生鳥獣被害対策の成果と今後の取組について

対策チーム名：上伊那地区野生鳥獣被害対策チーム

■タイトル 辰野町川島地区における集落をあげてのサル対策（H27年度）

■地域名 上伊那郡辰野町 川島 地区

■内容概要

1 地域の概要

集落戸数		加害鳥獣	被害農作物等	備考
	うち農家			
322	231	サル	スイートコーン等	

2 取組の概要

区分	内 容
経 過	<p>辰野町では、毎年、国の交付金（ソフト、ハード）を有効的に活用し、侵入防止柵の設置や、くくり罠等の購入、緩衝帯の整備等を計画的に実施してきた。</p> <p>その結果、イノシシによる被害は格段に減少したものの、サルによる被害は依然として高い水準（10,000千円超）にあり、サルに対する対策の必要性が迫られている。</p> <p>このような獣害対策のため、川島地区では「川島区有害鳥獣対策委員会」が地域住民により組織され、毎年集落ぐるみで鳥獣被害対策を行っている。</p> <p>また、防除対策を有効に実施するため、以前より野生鳥獣の生態や防除方法等についての研修会を、信州大学野生動物対策センター等の協力を得て地域独自に開催していたが、平成27年度には、この取り組みを住民の総力でできるよう、基礎的な知識から習得するため、新たに「川島区立野生鳥獣被害防衛短期大学」が設立された。</p>
取組内容	<p>【防衛短期大学の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学長 川島区長、学部長 川島区有害鳥獣対策委員長、 （運営主体 川島区有害鳥獣対策委員会） ○ 平成27年度の内容 開講式・第1回講座（H27.8月）～閉講式・第6回講座（H28.2月）まで、6回講座を開催。 （主な開催内容） <ul style="list-style-type: none"> ・サルの生態等に関する研修、侵入防止柵（サル用）に関する知識習得（安全管理の徹底含む）、サルの行動範囲の確認、獣肉の有効活用 など 【サル用電気柵（県農業試験場による長野式電気柵）の試験設置 ・H27.6 住民、試験場、対策チーム等による設置作業、H27.8 撤去作業 ○ 平成28年度の予定 開校式・第1回講座（H28.7）～閉講式・第6回講座（H29.1月）まで、6回の講座を予定。 （主な開催内容） <ul style="list-style-type: none"> ・防除対策に関する研修、集落診断 ・独自開発によるサル追い払い花火発射器作成実習、サル追い払い実践活動 など
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・辰野町鳥獣被害額（農作物） H23：25,835千円（うちサル：10,609千円） H24：29,039千円（うちサル：9,332千円） H25：30,202千円（うちサル：8,068千円） H26：17,554千円（うちサル：11,949千円） H27：14,501千円（うちサル：5,042千円） ・電気柵の試験設置を行ったほ場（スイートコーン）では、サルによる被害は皆無だった。
農家の方からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・試験設置を行った電気柵は、設置方法が簡易で安価であり、本年度の被害が全く無く、効果が実感できたので、他のほ場においても独自に資材購入して設置した。

3 課題と今後の取組

- サルの行動範囲の把握と、地域住民によるサル対策（追い払い等）の継続と徹底。
- 「川島区立野生鳥獣被害防衛短期大学」の開催内容の充実と、平成29年度以降の地域の取組内容の検討

4 活動状況



防衛短期大学の受講風景



ワークショップ（生息情報・被害のマッピング）



獣肉利活用（ジビエ料理）講座



長野式電気柵設置実習